

平成29年度(2017年度)

管理事業名	農業委員会事業				総合計画の体系	第8章 第4節	基本計画推進のために計画的な行政運営の推進		
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 6	農業費	(項) 1	農業費	(目) 1	農業委員会費		
予算執行所属				農業委員会事務局					
予算大事業名 農業委員会事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名							
事業の目的と概要 農地の保全と有効利用に向けた活動の促進、および農業者へ制度の周知などを農業委員一人ひとりが適正に執行できるよう、農地法およびその他関係法令に基づいた事務処理を行います。									

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
農業委員活動記録カード	枚	312	329	425	農地法に係る現地確認、相談、指導等の農業委員の活動記録カードの集計
成果の説明	日頃の農業委員の迅速な農地の現況調査や戸別訪問により、市内農地の実態を把握し、農地法等の法令事務の適正な執行と耕作指導等による農地の適正管理が維持できています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	848	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	801	808	7
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	10	25	26	1
経常収入 小計(a)	858	826	834	8
給与関係費	31,693	32,689	31,514	△1,175
物件費	442	425	424	△1
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	272	272	272	-
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,458	1,483	1,504	21
退職手当引当金繰入額	1,123	1,198	1,119	△79
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	34,988	36,068	34,833	△1,234
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△34,130	△35,242	△33,999	1,243
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△34,130	△35,242	△33,999	1,243
一般財源充当額	34,908	35,595	34,476	△1,119
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	778	353	476	123

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	臨時雇用員勤務月数削減のため。12か月→3か月
負担金・補助金・交付金等	大阪府農業会議市町村拠出金 272千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	858	826	834	8
行政サービス活動支出	35,766	36,421	35,310	△1,111
行政サービス活動収支差額	△34,908	△35,595	△34,476	1,119
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額合計	△34,908	△35,595	△34,476	1,119
一般財源充当額	34,908	35,595	34,476	△1,119
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動支出)
臨時雇用員勤務月数削減のため賃金が平成28年度に比べ、1,254千円の減額となったため、1,111千円の減額となっています。	

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成27年度	367,510 人	95 円	市民1人当たり、94円のコストがかかっています。平成30年3月31日現在の吹田市人口で算出しています。
	平成28年度	369,522 人	98 円	
	平成29年度	370,072 人	94 円	
市内農地所有世帯1世帯当たりのコスト	平成27年度	494 世帯	70,826 円	市内農地所有世帯1世帯当たり、72,872円のコストがかかっています。平成30年3月31日現在の市内農地所有世帯数で算出しています。
	平成28年度	487 世帯	74,062 円	
	平成29年度	478 世帯	72,872 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	1,483	1,504	21
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	1,483	1,504	21
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	固定負債	16,773	16,276	△497
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	16,773	16,276	△497
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	18,256	17,780	△476
土地	-	-	-	純資産	△18,256	△17,780	476
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
固定資産	-	-	-	純資産の部合計	△18,256	△17,780	476
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-	負債及び純資産の部合計	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

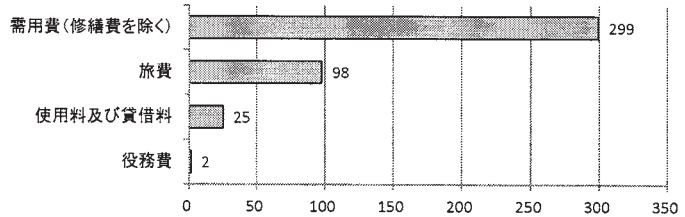
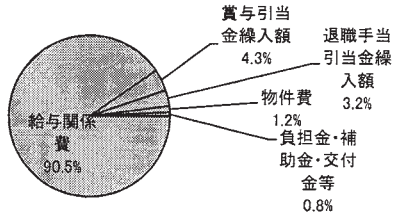
事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事日数	実人数	
	2.4人		59日	22人	34,137
給与関係費等	20,590千円		527千円	13,020千円	
内、時間外勤務手当	807千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		97.6	97.7	97.6	△ 0.1

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

・事業費の90.5%は給与関係費が占めます。
 ・事業の大半は、一般財源であり、特定財源としては、農業委員会交付金778千円、国有農地等管理処分事業事務取扱交付金30千円、農業者年金業務委託手数料25千円となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

・事務局全職員が地域経済振興室の農業振興業務と兼任し、必要最小限の人数で法制度に則った業務を実施している状況で、「農業委員会等に関する法律」の改正に伴い、平成29年度は初めて公募による農業委員の改選を実施しました。
 ・今後も引き続き、農業者の公的機関として、農業者間の利用調整と地域農業の振興を図るとともに、農地利用の促進や遊休農地の発生防止に努めてまいります。